

本編に続く→



■パース定規を使って 立方体を描く練習をしよう！

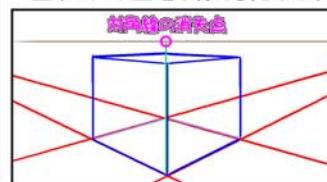
背景や小物を描く上で、基本になる图形は立方体です。どのような物を描く場合も、まずは立方体で考えると描きやすくなります。まずは立方体を描く感覚を養いましょう。

■立方体を描く手順は？

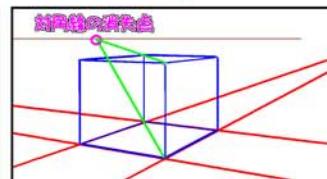
- ①イメージラフを描く
下描きレイヤーにざっくりと「アイレベル」と「立方体」を描きます。
- ②[パース定規]を作成する
背景や小物を描くときは複数のレイヤーを使って描いたほうが自由度が高いです。そのため「サブ定規」よりも新規「定規」レイヤーを作つてそれを元に描く方が便利です。
- ③線画を綺麗な線に整理する
新しく作成したレイヤー上に「パース定規」を使って下絵を綺麗な線に整理します。

必要に応じて補助線を引いて出来るだけ正確な線を引きます。

対角線の消失点



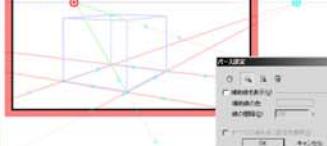
対角線の消失点



対角線の消失点を取るとより正確に描けます。

対角線の消失点を「消失点の追加」で設定して補助に使う方法が便利です。

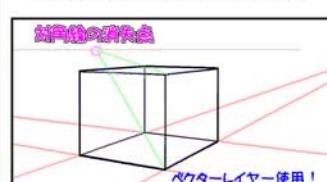
対角線の消失点



④線画をクリーンアップする

ベクターレイヤー上に描ければ交差した線やはみ出した線の消去がとても楽に出来ます。

対角線の消失点

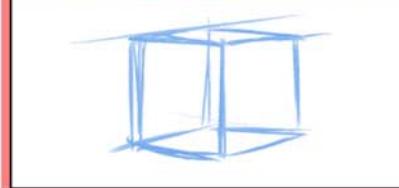


⑤トーンやベタで仕上げる

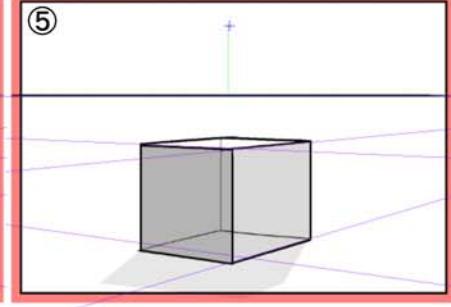
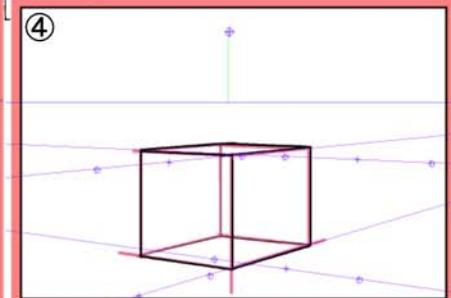
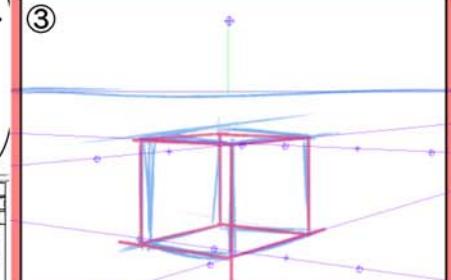
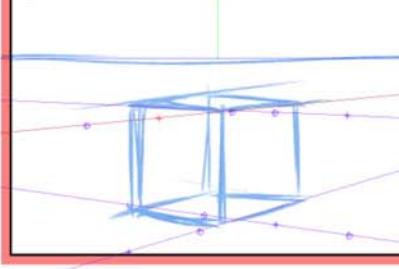
光源を考え、影をトーンやベタを使って仕上げ処理を施します。



①

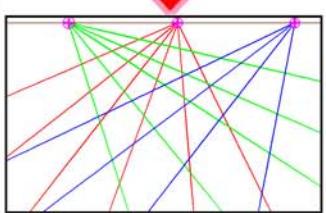
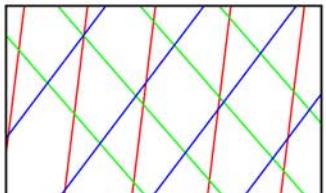


②

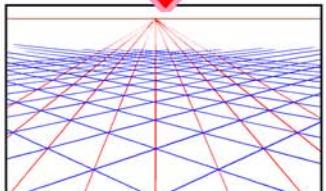
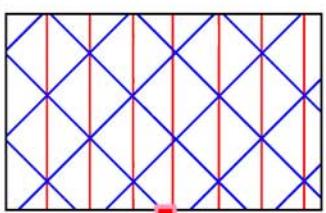


■対角線の消失点を決めよう

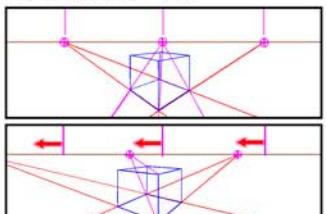
地面に対して平行な平行線は、アイレベル上に消失点を持ちます。



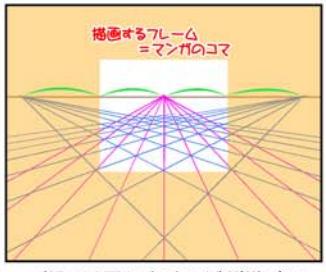
正方形グリッドを45度の角度で見ると、真正面に対角線の延長が消失する点がある事が判ります。



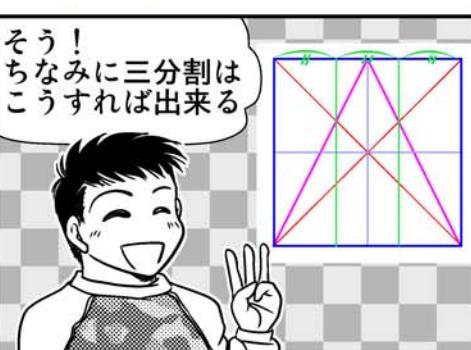
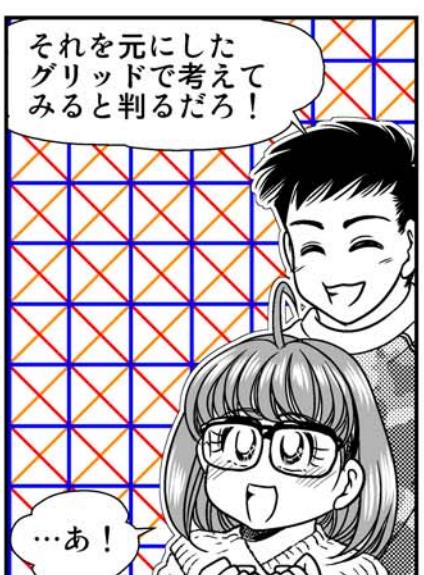
見る角度を変えると、消失点の位置が下図の様に移動します。それに伴って対角線の消失点の位置も移動します。



通常の場合、二点透視の二つの消失点を同じ画面内に入れて設定することはありません。消失点は画面からフレームアウトします。



一概には言えませんが、消失点の間隔は45度で見る場合、大体フレームの二倍以上に取つたほうが自然に見えます。



■[消失点の追加]と
[消失点のガイド線]の追加

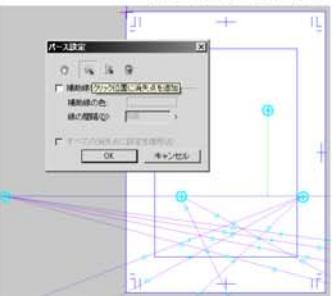
「消失点」や「ガイド線」を作画の補助のために追加しましょう。

- [定規選択ツール]を使い、パース定規上で右クリックします。



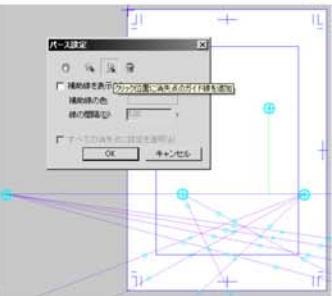
- パース定規の[詳細設定]を選択します。

- [クリック位置に消失点を追加]…のアイコンを選択



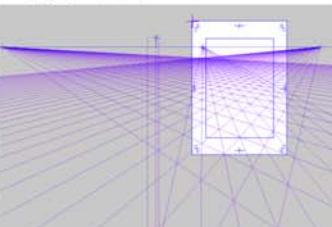
画面内をクリックすると、その位置に新しい消失点が追加されます。

- [クリック位置に消失点の
ガイド線を追加]…のアイコンを選択

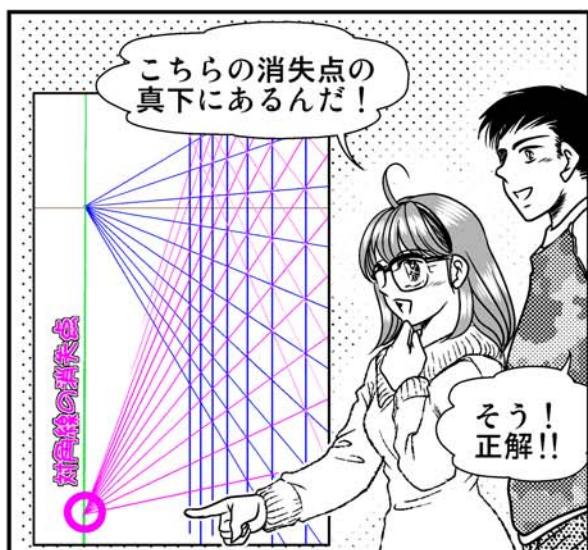
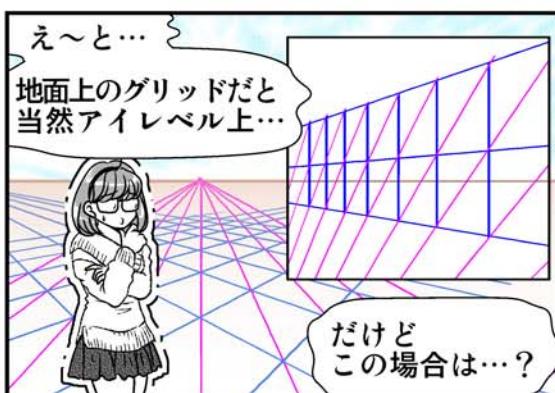
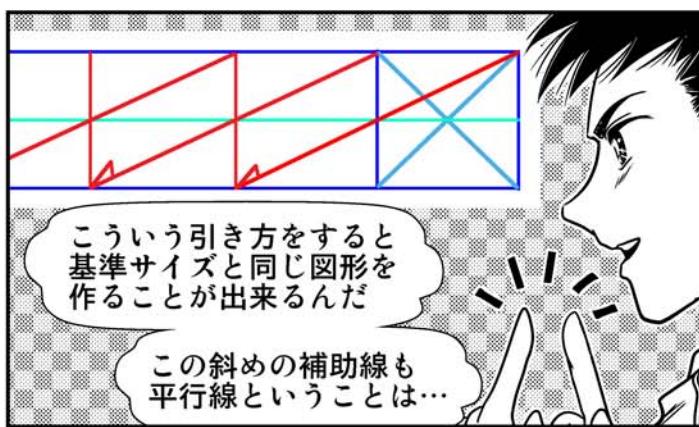
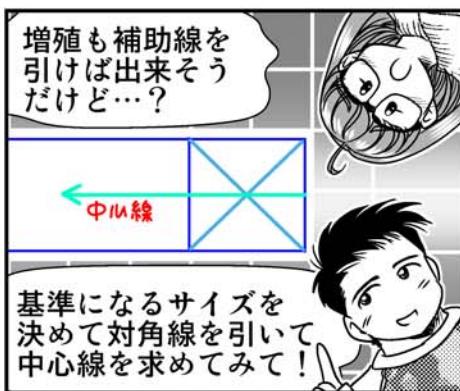
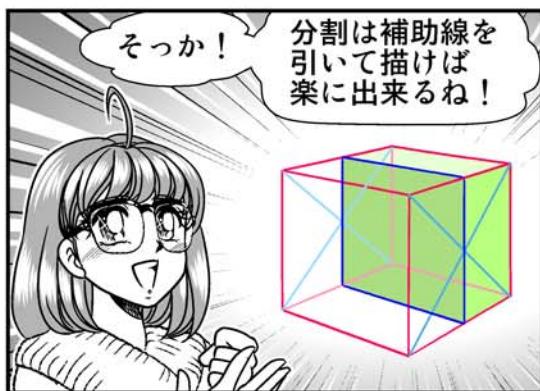


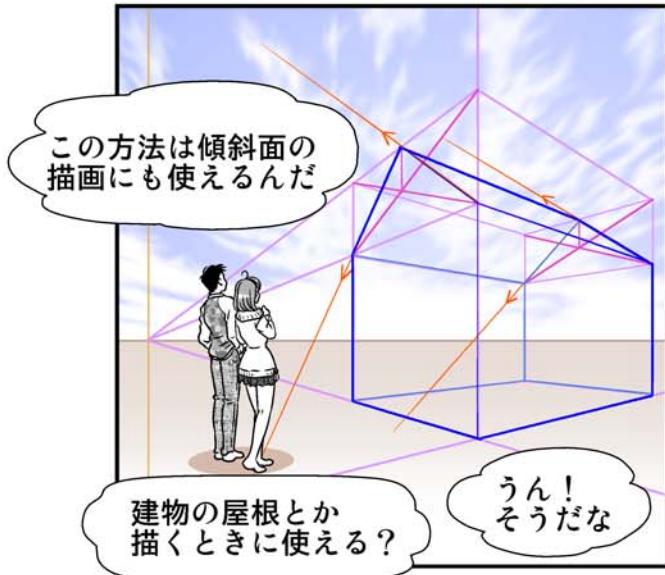
ガイド線を追加したい消失点を選択して画面内をクリックするとガイド線が追加されます。

- [OK]を押して確定して[消失点] [ガイド線]の位置を調整します。



対角線の消失点を設定して、[ガイド線]を対角線に一致させます。
それを元に消失点のガイド線を増やしてグリッドを作成すると作画の補助に役立ちます。



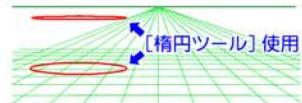


■バースのかかった円を描く

バースのかかった円は頻繁に描く機会があると思います。ComicStudio上で描く方法を幾つか見てみましょう。

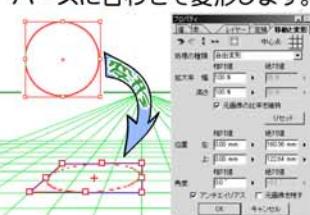
①橿円ツールを使う

小さい円やアイレベルに近い位置の円の場合、橿円ツールで描いてもさほど問題はありません。



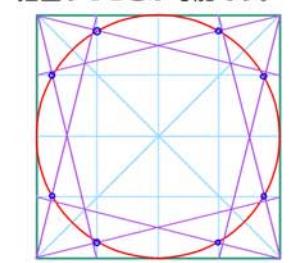
②正円を描いて変形する

正円を橿円ツールを使って描きそれを[編集]→[移動と変形]でバースに合わせて変形します。

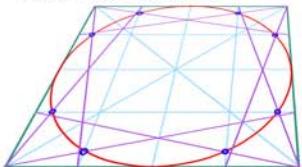


③正方形のマスを参照して描く

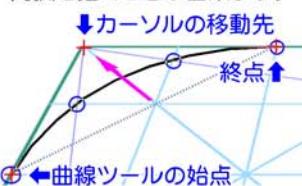
左図の様な補助線を引きバースをかけた図と対応させ描画する方法。4×4に切るとさらに正確に描画することが可能です。



上図の様に補助線を引いて印の交点を曲線で滑らかにつないで作画します。



[曲線ツール] を使うとかなり近い曲線を引くことが出来ます。図の様に始点・終点と中間点を設定して描くと、ほぼ一致した円弧を描くことが出来ます。



③で[折れ線ツール]を使って描くのも一つの手段です。

①②③の方法で定規ツールを作り、それを使ってペンで描く方法もあります。

